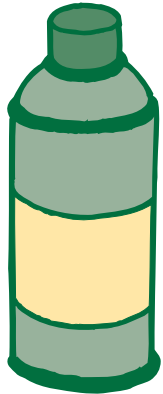


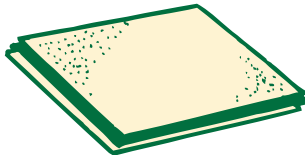
用意する物



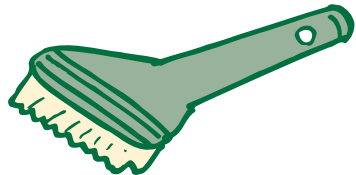
●ペイントうすめ液



●床用ニス



●サンドペーパー



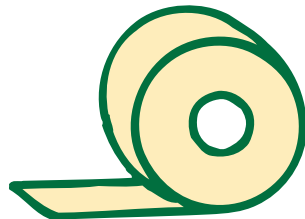
●ニス用筋かい刷毛



●コテバケと受け皿



●ボロ布

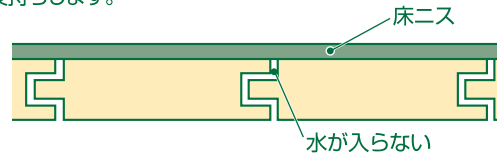


●マスキングテープ

ここがポイント!

フローリングの床は床ニスがー番

最近では寄せ木フローリングの床にする住まいが増えてきて、床に塗るワックスもたくさん販売されています。中でも滑らないというキャッチフレーズのものもありますが、それでもやっぱり、水をこぼしたりすると滑りやすくなります。またワックスは寄せ木にかけただけなので、寄せ木の継ぎ目はふさがりません。特に台所などでは水をよく床にこぼしますので、その継ぎ目から水が浸みこんでいき、寄せ木が早く悪くなっていきます。その点、床ニスは継ぎ目そのものもシールしてしまいますので、水が浸みこんでいきません。2~3年ごとに塗り替えているだけで、ワックスを塗っている寄せ木床より長持ちします。



DO IT YOURSELF ADVISER
DIY
DIY協会

(社)日本DIY協会認定DIYアドバイザーが、ご質問にお答えいたします。
お気軽にお声をおかけ下さい。

サービスのご案内

●クレジットもご利用になれます。

配送ベリカ便	切り売り商品	修理	
返品・交換	表札・領の受注	スペアキーづくり	



制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進部
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1
TEL.027-345-1111(大代表)

©無断転載は禁止します

床用ニスを塗る (フローリング)

自分でやってみよう!

セキチュー How to D.I.Y

29



生活の洋式化に伴って、フローリングの床が増えてきています。しかし、継ぎ目から水が入ってしまったり、人がよく歩く部分などは数年も経つと床面にキズがつき、汚水が浸みこんでいきます。ワックスを塗って防げますが、ワックス面は水がかかるとよくすべるものもあり、危険な場合もありますので、水がこぼれてもすべりにくい床用ニスを塗っておいたほうが安心です。

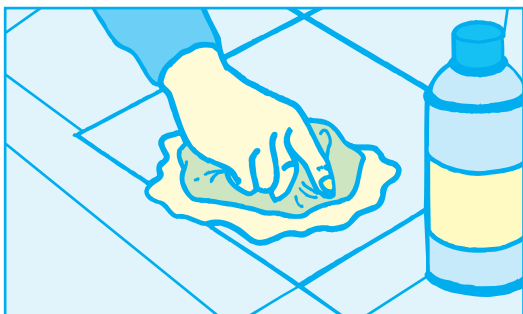
Do it Yourself & Save

床用ニスの塗り方



1 ごみやほこりをとります。

掃除機をかけて床のごみやほこりを取り、ワックスをかけてある場合はワックスはくり剤をボロ布につけてよく拭き取ってください。



2 サンドペーパーをかけます。

ニスがよくつくようにサンドペーパー(320番ぐらい)を全体に軽くかけ、表面を少し荒します。サンドペーパーは当て木をしてかければ均一に早くかけられます。

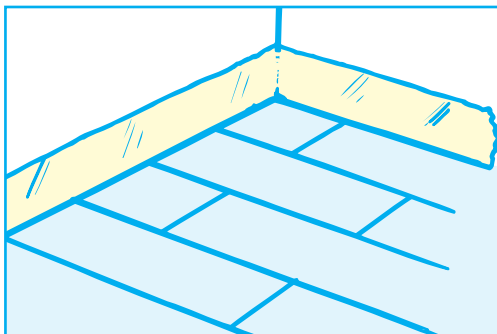


3 床にシミがある場合

サンドペーパーをかけた後、シミが隠れるくらいの濃さの着色ステインを塗って下さい。着色ステインは刷毛で塗り、乾かないうちにボロ布でふき取ります。色が薄い場合はもう一度塗って同じ処理をして下さい。

4 マスキングをします。

床と接しているいて、ニスがついて困る部分にはマスキングテープを貼っておきましょう。



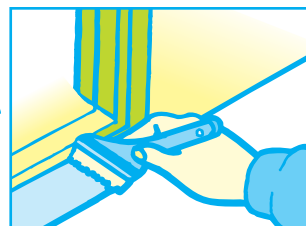
5 ニスをうすめてかきまわします。

床用ニスは濃いと刷毛目が出やすくきれいに仕上がりにません。必ずペイントうすめ液でうすめて(ニスに対して5%)塗りやすい濃さにし、その後よくかき混ぜてから使しましょう。



6 まず隅から塗ります。

塗りにくい部分から先に、筋かい刷毛で塗っておきます。



7 塗る順序を考えます。

全体を塗り始める前に塗り進める順序を考えて出口から一番遠い部分から始めて、最後にそのまま出口から出られるように塗りましょう。また初めから窓やドアはあけておき、風通しをよくしておきましょう。



8 コテバケで塗ります。

全体はコテバケを使って塗っていきます。普通の刷毛よりスピーディにできて、刷毛目もできません。とどき塗り残しがないか確認しながら塗っていきましょう。よく乾いてから2回目を同じ順序で塗っていきましょう。

